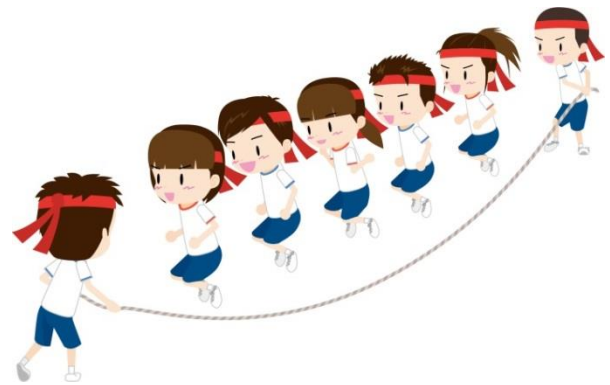


パチパチと小さな拍手。さらに別な生徒も立ちます。
「勝ち負けなんて…。拍手はクラス中に広がり、さらに大きく確かなものになりました。

「一緒に跳ぼう、あべちゃんと跳ぼう。」と誰もが口ぐちに言っていました。

「本音を聞かせてくれ。みんな、本当にそれでいいのか。」先生は涙声でたずねました。

すると、…クラス全員の手がまっすぐ挙がりました。柏木先生は、一回でも跳べたらみんなで喜べるような試合にしようかと生徒たちに言いました。



そして、運動会。最初は失敗していましたが、次の瞬間、男子生徒に抱えられたあべちゃんがついに跳び、一回成功しました。さらに奇跡が続きます。次には7回連続して跳べたのです。前半が終了すると、全員があべちゃんのもとに駆け寄りました。

そして、後半戦。ここでも信じられないことが起きました。なんと、あべちゃんが一人で跳び始めたのです。練習では、一度も跳べなかったあべちゃんが、みんなと一緒に跳んでいたのです。

結果は2年生5クラス中、ビリ。それでも、彼は友だちと手を取り合って、そして、一人で…なんと71回も跳べました。彼は、その後、作文にこう書いています。

「跳びはねるほど、嬉しいです。今日のぼくは、絶好調でした。」

本番中、心配で心配で、みんなの足元ばかり見ていた先生が、後から、生徒たちが書いた作文を見て、一つだけ知ったことがあります。

「みんな 跳びながら 泣いていました。」



クラスが一体となり、泣きながら笑い、笑いながら泣いて跳んでいる生徒たちの光景が目につかびます。他の人の成功を、自分のことのように喜べる素晴らしい仲間たち。クラスの意義はここにあります。

喜びを共にできる幸せ。その幸せを感じる運動会になることを願います。



5月28日の全校集会で応援団長から全校生徒へ向けて次のような話がありました。

全員で団結し、開校20周年記念運動会を成功させましょう。

白組 応援団長

白組の応援団では、白組全員が一体となることができる応援を考えました。

20周年という記念の年の運動会を皆さんと力を合わせて盛り上げていけたらと思います。

大きな声を出すことに慣れていない人は「恥ずかしい」「照れくさい」と思うかもしれませんが、恥ずかしがらずとにかく大きな声で応援を一緒にできたらいいなと思います。

真剣に楽しく応援練習を行い、本番で必ず成功させましょう。

赤組 応援団長

今年で六本木中学校は、20周年を迎えます。それにふさわしい、心に残る運動会になるよう全力で応援したいと思います。応援といっても団員だけがやるわけではありません。ここにいる皆さんも一団となって応援に参加してもらいます。一人一人の取り組み方や意識によって大きく結果が変わってくると思います。赤組の皆さん、全員で優勝をつかめるようにぜひとも練習から運動会本番までご協力お願いします。

全員のハートに火がつけられるよう本気で応援し、本気で戦い、勝利をもぎ取りましょう。